

平成23年3月18日 第23号  
 発行：東京二十三区清掃一部事務組合  
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目5番1号  
 TEL 03-6238-0613~5 FAX 03-6238-0620

東京二十三区清掃一部事務組合は、  
循環型社会の形成を目指しています。  
<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>

## 清掃一組の技術委員会の取り組み

「東京二十三区清掃一部事務組合技術委員会」は、清掃一組本庁の部・課長を中心とした委員構成で、廃棄物に関する技術情報の取得、並びに清掃工場における処理技術・技能の蓄積と継承、及び発展を図ることを目的に平成12年に設置されました。実際の活動は「技術発表部会」、「清掃技報部会」及び「研修部会」の3つの作業部会を主体として行われています。今回は各部会の概要をご紹介します。



### 技術発表部会

毎年行われる職員技術発表会の実施に向け、発表者の募集及び配布資料作成をはじめ、発表会の運営を行っています。22年度は去る2月18日に、省エネ・リサイクルへの取組、処理のあり方、設備改善の取組等について15テーマが発表されました。当日は、23区や東京都、多摩の自治体、関連団体も含め200名を超える参加者を迎え盛況のうちに終了しました。

### 清掃技報部会

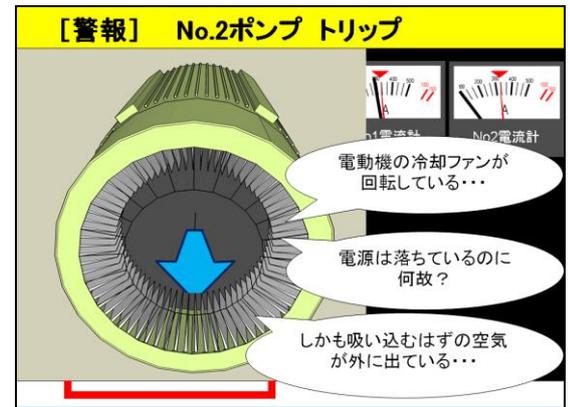
廃棄物処理技術に関する論文集「清掃技報」の論文の募集、選定、編集及び発行をしています。

最新号は23年3月15日発行の第11号です。「不燃物抽出装置の針金巻付き対策」など、24本の論文、解説、報告、資料などを掲載しています。東京都清掃局時代を含めた通巻では36号を数えます。

### 研修部会

清掃技術に関するテーマを設定し、講演会や施設見学を企画・立案し、実施しています。22年度の活動は、講演会を1回、施設見学会を2回開催しました。講演会は「灰の資源化の現状と展望」をテーマに22年12月15日に実施し、施設見学会は、大田清掃工場解体现場の見学会と、「高効率発電システム及び清掃事業の先端技術」というテーマで22年12月3日に、東京電力川崎火力発電所と相模原市南清掃工場を訪れました。

また、研修部会では、訓練センターでの職員研修や各工場のOJTで活用する教材を作成しています。教材作成は清掃工場の教訓事例を題材に、視覚に訴えるためパワーポイントを使用して、「ポンプ不具合による運転障害」など5事例分を作成しました。



研修教材「ポンプ不具合による運転障害」

## 世界に誇る清掃工場～海外からの行政視察～

清掃一組の施設には、世界中から毎年約3千人の海外視察が訪れています。国別では、中国、韓国、台湾、インドネシアなどのアジア諸国が大半を占めますが、最近では中米、インド、アフリカ方面からの訪問も増えています。また、大臣・州知事・市長などの行政関係だけでなく、海外メディアの取材、修学旅行の高校生や、JICAの技術研修まで、幅広い層の取材・見学を受入れています。

昨年11月には、横浜で開催されたAPEC首脳会談に出席した、香港特別行政区のドナルド・ツァン行政長官が、香港で深刻化している廃棄物問題を背景に、多摩川清掃工場と品川清掃工場を見学されました。視察は強行スケジュールの中、長官ご自身の大変強い希望により2日間にわたり実現したもので、連日、行政機関の担当者に加え警視庁のSPや香港のマスコミまでも帯同する「VIP御一行」の訪問となりました。ツァン長官は多摩川清掃工場の見学後、記者会見で「工場の中に入っても、煙がまったくない。異臭も騒音もなく、施設が地域社会の一部となっている。これは我々にとって学び、見習うべきことと言えるだろう。」と発言し、視察の様子は翌日の香港のメディアにも大変大きく取り上げられました。



見学の間も熱心に質問するツァン長官

清掃一組では今後も積極的に視察を受入れ、海外への技術協力を行っていきます。